

## テーマ設定（リサーチクエスチョン）に関するアドバイス

課題研究のテーマ設定に関して、過去に課題研究の指導に携わった先生方からアドバイスをいただきました。ぜひ参考にして、より良いリサーチクエスチョンを設定しましょう。

### 全体

- ・授業で学習する（常識的にわかる）内容で答えが出るものではないか。  
→専門家や教科担任等に確認する。  
→授業で学習した内容に関する疑問をより深く追究するテーマはあり。
- ・先行研究や資料を調べて答えが出るものではないか。  
→これらを用いて、過去・現状を調べ、「今後どうなる？」「こんなこと可能かも？」を考え、リサーチクエスチョンをたてる。
- ・先輩がすでに研究しているテーマではないか。  
→過去の論文・ポスターは化学準備室にあるタブレット等で閲覧可能  
→同じテーマでも研究手法を改善したものや過去の研究の結論から新たなリサーチクエスチョンを設定すればよい。
- ・高校にある物品・器具・設備でも研究することができるか。  
→測定・調査等のために大学・外部施設を利用させていただくこともあるが、毎回訪問することは現実的ではない。
- ・限られた研究期間でも検証可能か。  
→研究は基本的に週1回の授業内で行う。業後・土セミ後などに活動することも可能（実験室は使用可能な日時を指定する）だが、他の活動（学習・部活など）もある。
- ・研究する範囲をできるだけ限定する。  
→漠然としているとどのような研究手法を用いればいいのかわからなくなる。
- ・地域（豊田市・愛知県など）に注目したテーマとするとオリジナリティが出しやすい。  
→地域特性（トヨタ・おいでん・香嵐溪・特産物など）を見つめ直そう。

### 理型

- ・客観的なデータが測定できるか考えよう。  
→ヒトをテーマにしたものは、個人差が大きく、一般化が難しくなりやすい。
- ・高校の学習範囲で結論が導けるものではないか確認しよう。  
→担当教員と相談したうえで、テーマに関連する教科の先生に見てもらう。
- ・先輩の過去の論文から課題を見つけて、発展させよう。
- ・（高校での）授業内容を取り込むと、自由研究との差別化を図りやすい。
- ・身近にあるささいな困っていることから連想しよう。  
例：輪ゴムが劣化してすぐ切れる。ホワイトボードの文字がきれいに消えない。  
雨の日に廊下が滑りやすい。